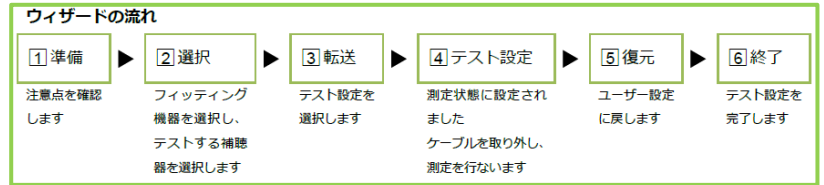


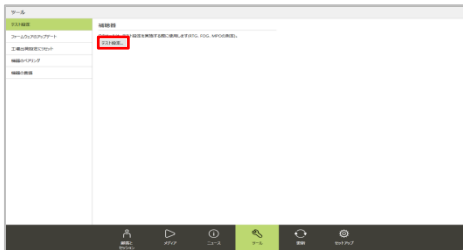


ウィザードに沿って、補聴器の性能を確認するための、周波数特性測定用設定を行う機能です。テスト設定の手順は以下の通りです。

テスト設定の種類は、測定器種によって異なります。



### 操作方法 (画像は Target 4.3)



1. Phonak Target 立ち上げ画面にある「ツール」の「テスト設定」をクリックします。「テスト設定…」をクリックして開始します。



2. 使用する接続機器を確認し「続行」を押します。



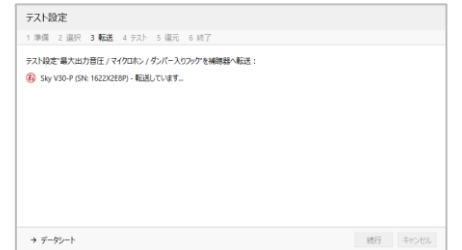
3. 注意事項を読み、「続行」を押して進みます。



4. 検出された補聴器をクリックします。「続行」をクリックして次へ進みます。



5. 転送したいテスト設定を選択し「続行」をクリックして次へ進みます。



6. 選択した設定が転送されます。

※ 検査箱で測定する場合は 1 台ずつ選択します。  
REM (実耳検査) で測定する場合は 2 台選択できます。



7. 測定状態になったら、①ケーブルを取り外して測定することも、②ケーブルを取り付けたまま測定することも可能です。測定が終わったら、「続行」をクリックして次へ進みます。



8. 「続行」をクリックして復元します。



9. 補聴器の前の設定が復元されます。



10. 「閉じる」をクリックしてテスト設定を終了します。

テスト設定の種類  
(BTE の例：耳あけ型および RIC タイプの場合は、音響パラメータもそれぞれのタイプに別したものになります)

測定内容	入力ソース	音響パラメータ
最大出力音圧	マイクロホン T コイル	ダンパー入りフック スリムチューブ
規準周波数利得	マイクロホン オーディオ/ロジャー/FM 入力 T コイル T コイル+マイク	ダンパー入りフック スリムチューブ